

4/23(土) 14:00~

はっぴいえaster in 宝塚

会場:当教会 入場無料



『心の中の平和』～平和をつくり出す人に～

講師:近藤 紘子氏
(広島原爆の語り部)

【プロフィール】

1944年(昭和19年)11月、広島流川教会牧師の谷本清・サチ夫妻の長女として生まれる。生後8ヶ月のとき、爆心地から1.1キロの地点で被爆するも、奇跡的に助かる。現在は、日本キリスト教団三木志染教会で、近藤泰男牧師の妻として教会を支える傍ら、広島原爆の語り部として、日本だけでなく、世界(特に米国)において講演、テレビ、ラジオ、新聞等、及び、小学校から大学院までの教育関係、キリスト教や仏教の宗教関係、地域社会において講演を行っている。また、国際養子縁組(親に育ててもらえない日本の子どもの養子縁組)への協力や、Children as the Peacemakers FoundationのInternational Advisorとしての立場を通して、子どもたちと共に世界の平和を訴える働きを続けている。American University / 立命館大学の「広島・長崎平和セミナー」客員講師。公益財団法人ヒロシマ・ピース・センター評議員。2014年にWebster UniversityよりDoctor of Humane Letters Degree、2015年にCentenary CollegeよりDoctor of Letters Degreeと名誉博士号を授与。

5/1(日) 16:00~

チャペルコンサート Vol.41

会場:当教会 入場無料

一昨年、友枝良平さんのオカリナは大好評でした。今回は揚琴もあわせてお楽しみください。



友枝良平 (Ryohei TOMOEDA)

【プロフィール】

揚琴奏者/笛奏者。1987年より揚琴の演奏、作・編曲活動を開始。以後、数少ない日本人揚琴奏者として、様々なジャンルのミュージシャン、舞踊家、朗読家、ヴィジュアル系アーティストとの共演、メディアやアーティストへの作品提供・出演、CD制作参加、CM音楽制作等を行なっている。1995年よりオカリナの演奏、作・編曲活動を開始。1999年よりアマチュアグループの指導も始める。2014年よりインディアンフルートの演奏活動を開始。1996~2016年、京都・法然院にて阪神大震災追悼演奏。2003~07年、京都・因幡堂平等寺にて年越しコンサート。2005~15年、京丹波町・琴滝にて「冬ほたる」オカリナコンサート。1994年、2001年に揚琴のソアルバムを全国で発売。著書/オカリナ合奏曲集“e-score シリーズ”、教則本“オカリナ練習ガイド「ポケットにオカリナひとつ」いずれも電子書籍として2003年に出版。京都府在住。2015年5月より、当教会でオカリナ教室のインストラクターを務める。



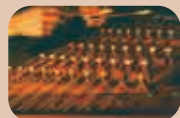
オカリナ (Ocarina)

古代から世界中で作られ、演奏されてきた素焼きの土笛のうち、現在までイタリアで愛好されているスタイルのものを、特に「オカリナ」と呼んでいる。日本でも現在、大小様々なオカリナが製造・販売され、オカリナ教室やオカリナ製作体験教室も盛んである。



揚琴 (ようきん/Yang-chin)

中国の打弦楽器。起源はペルシャ。台形の木の箱に張られた100数十本の金属弦を2本の竹製のばちで打ち鳴らす。弦はひとつの音に対して2~5本一組で張られ、打たれることで共鳴を起こし、非常に深く繊細で余韻の長い響きとゆらぎを生み出す。



ケアプラン
デイサービス
オリーブの実

「ケアプラン オリーブの実」 ☎:0797-73-6055
「デイサービス オリーブの実」 ☎:0797-73-6077
お気軽にお問い合わせ・ご相談ください。

宝塚栄光教会

牧師:岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9

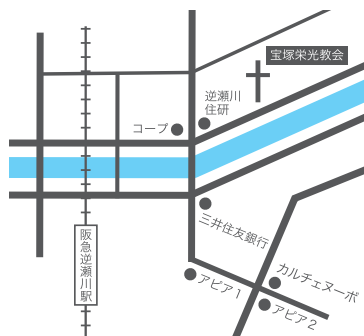
TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com
http://www.takara-eikou.com

希望のダイヤル
毎週更新・24時間つながります。
0797-77-3746

ポッドキャスト
でも配信!
ホームページから
利用できます。

わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。



復活の希望に生きる

今年のイースターは、3月27日でした。でも、なんとなく3月は受難週、4月はイースターというイメージが強いのは私だけでしょうか。

多くの人は、死人がよみがえるなんて、そんなばかげたことがあるか、と言います。確かに人間の理性では考えられないことです。しかし、キリストは神の子でした。神と等しいお方でした。そのお方が、死んでそのまま終わってしまうはずはありませんでした。

聖書にこのように書かれています。「しかし、今やキリストは、眠った者の初穂として死者の中からよみがえられました。」(コリント人への手紙第一 15章 20節)

キリストが十字架で死なれたことは、学校でも教えられます。でも、三日目に墓の中からよみがえられたことは、教えられません。非科学的・非理性的に思えるからです。しかし、キリストの復活こそ、私たち人類の大きな希望です。なぜなら、よみがえられたキリストだけが、私たちを死の恐れから解放してくださるからです。

私たちは皆やがて死にます。そして、たいていの人は死を恐れます。死の向こうにどんな闇の世界が広がっているかわからないからです。人はなぜ死ぬのでしょうか。その原因は、罪です。神様に罪を犯しましたから、人は死ななければならなくなりました。死は罪の結果です。

キリストは、私たちのその罪のために、十字架にかかって死なれました。私たちが自分の罪を悔い改め、十字架を信じれば、すべての罪が赦され、救われます。そして、キリストが死の中からよみがえられたことを信じる者には、永遠のいのちが与えられ、死に勝つ力が与えられます。私たちを死の恐れから解放するのは、この十字架に死んでよみがえられたキリストだけです。

あなたもぜひ、キリストの十字架と復活を信じてください。そして、罪の赦しと永遠のいのちをいただけてください。復活の希望に生きる生き方を始めようではありませんか。



「春を告げるコブシ」

まだ彩りのない 早春の野山に
いち早く 白い花をつけていくコブシ

寒い冬の終わりを 告げる花は
純白で 優雅な芳香を 放っている
その白色で さわやかな香りは
一転して 春を告げる花となっている

春に さきがけて咲くので 迎春花とも呼ばれる
また 田植えの時期に 咲くので
田打ち桜 田植桜 などと呼ぶ 地方もあるという

コブシの木は すらりと伸びて 枝を張った木
その足元から見上げると 大空の青色を 背景に
まっ白い花の 風にゆれる美しさに 思わず息をのむ

コブシという名は 蕾の形が
子どもの やわらかい 握りこぶしのようだからと 言われているが
一方 秋に実る ゴツゴツした果実が
握りこぶしのようだからとも 言われる
こちらは 大人の手を 連想させる

花言葉は 信頼 友情
言葉だけでなく 心の奥まで 美しくありたいと願わされる
コブシの花が 教えてくれた

いかに幸いなことでしょう
あなたによつて勇気を出し 心に広い道を見ている人は
嘆きの谷を通るときも そこを泉とするでしょう
雨も降り 祝福で覆ってくれるでしょう